

身近な植物で「花粉管の伸長」が短時間で観察できる植物として、ダントツでお勧めなのは「ホウセンカ」です。しかしホウセンカは栽培しておく必要があります。花はたくさん咲きますが、きれいに咲いていると思った花でも、すでに花粉が少なくなっている場合も多いのです。

その点「シロツメクサ」は公園の芝生や草地に普通に咲いています。今の時期は花を探すのはちょっと大変なのですが、マメ科の花なので、一つの花房にたくさんの花がつくので、一度にたくさんのお粉を採取できます。

ホウセンカに比べると、花粉管の「発芽」までに少し時間がかかり、「発芽率」もやや低いのですが、少し根気よく観察すれば良い一瞬に出会えます。尚、スライド上に置く寒天培地の作り方、および観察方法は以下のようになります。

- (1) 小さな三角フラスコ（またはビーカー）に、グラニュー糖 1g、粉末寒天 0.1g、精製水 10mL を入れます。
- (2) ラップで蓋をして、電子レンジで約 1 分間沸騰させます。
- (3) シャーレに薄く敷いて固め、カッターで 5mm 角程度に切って、ピンセットでスライドにのせます。
- (4) 観察する直前に、寒天上に雄しべ（葯）を軽く押し付けて、花粉をのせます。
- (5) 低倍率で花粉管が見える花粉をさがし、100 倍程度の倍率で伸長を観察します。

(2024 年 9 月上旬 / 光学鏡・透過光・×100)

